



令和5年度

仁比山っ子

仁比山小学校 学校だより

第28号 5月1日

文責 校長 秋吉 洋志

さわやかな5月になりました が 注意が必要です。

さわやかな季節を迎えました。陽光も力強くなり、山の緑も一層深くなり生命にあふれているかのようです。気候的にも最も過ごしやすい時期といわれています。

新年度に入っの学校生活も3週間が終わろうとしています。新しい担任や学級の取り組みにも慣れてきて一層充実した学校生活を送るにはいい季節です。お子様の調子はいかがでしょう？

5月といえば、ゴールデンウィーク、新茶、鯉のぼりなど明るいイメージで語られることが多いのですが、実は注意を要する時期でもあります。「五月病」という言葉を聞かれた方も多いと思います。正式な医学用語ではないそうですが、新年度を迎え新たな生活に張り切って臨んでいるうちに知らず知らずに無理をしてしまい、ストレスをためてしまうことがあるとのこと。

身体のだるさ、意欲がわかない、物事を悲観的に考えてしまう、よく眠れない、食欲がないなどの心身の症状が現れることがあります。

お子様の心身の様子をしっかりと観てあげてください。何か気になることがありましたら早めに学校までご連絡ください。一緒に考え、よりよい対処法を見出していきたいと思ひます。

家庭訪問のご協力ありがとうございました

先週(4/24~4/28)の家庭訪問につきましては、年度当初のお忙しい中にご協力いただきましてありがとうございました。

お子様の学びや生活について多くの情報を提供していただきました。皆様からお寄せいただいたお尋ねやご意見、ご要望については学校で集約、精査し、これからの学校の教育活動の参考とさせていただきます。

ありがとうございました。



さすが 仁比山っ子

校門前の横断歩道を横断するとき、信号で停まっていたドライバーに向かって、ペコリと礼をする児童が少しずつ増えてきたかな、と感じています。私も運転中に同じことをされると嬉しい気持ちになります。

まだまだ少数派です。この輪が広がるといいなと思ひます。

備えあれば憂いなし 地震・火災避難訓練

4月20日(火)に今年度第1回目の避難訓練を行いました。何も起こらないのがよいのですが、万が一に備えておくことは学校の責務です。今回は地震の後に火災が発生したという想定で行いました。地震のあとは火災発生への心配があります。

地震の際には避難経路の確保の観点から扉を開けませんが、火災の際は酸素供給を断つために窓を閉めきるなど瞬時に対応が変わります。日頃からの訓練が必須です。

さて、仁比山っ子の避難の様子はいかがだったでしょう？避難の仕方については各学級での事前指導の成果が発揮され、素早い行動をすることができました。

もし、掃除の時間や休み時間に発生した場合はどうでしょう？登下校の時には？どのような場合でも命を守ることができるような判断力とスキルを身につけさせていきたいと思ひます。

ご家庭でも地震や火災発生時の対応について確認されておいてください。神崎市にも佐賀平野北縁断層帯があり、M7.5程度の大地震を引き起こす可能性があるらしいですよ。(もちろん、時期はわかりません)

佐賀は全国的にみても地震が少ない地域であるといわれていますが、1831年には佐賀平野でM6.1の大きな地震が発生し、「肥前国地大いに震い、佐賀城石垣崩れ、領内潰家多し」ということがありました。

日頃からの備えが大切ですね。



